



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6297 URL <https://www.koken-boring.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理財務本部長 (氏名) 和泉 裕介 (TEL) 03(6907)7888
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,190	36.8	426	270.9	365	826.2	224	145.1
2023年3月期第3四半期	5,255	△1.8	115	△64.4	39	△87.6	91	△68.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 223百万円(145.9%) 2023年3月期第3四半期 90百万円(△69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	26.55	—
2023年3月期第3四半期	10.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,259	4,862	36.7
2023年3月期	12,887	4,697	36.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,862百万円 2023年3月期 4,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	21.7	700	167.7	580	269.1	350	88.3	41.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	8,970,111株	2023年3月期	8,970,111株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	510,463株	2023年3月期	529,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	8,452,156株	2023年3月期3Q	8,431,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しに加え、インバウンド需要の回復等により、緩やかな回復基調が継続しております。一方、世界的な根強い物価上昇圧力や、それに伴う金融引き締めの影響に加え、中国経済の先行き懸念等、海外経済の減速に伴う景気の下押しリスクに引き続き留意する必要があります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など、社会資本整備が不可欠で、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。当社グループにおきましては、依然として、原材料価格の高止まりによるコスト上昇の影響が顕在化していることから、ボーリング機器関連の主要機械の受注、生産、出荷体制への影響を引き続き注視して参ります。工事施工関連においては、建設業界における「働き方改革」などによる工程の変更、大型プロジェクト案件から、脱炭素・自然エネルギー関連事業への移行期にあります。

このような状況のもと、当社グループでは引き続き中期経営計画「STEP UP鈹研ACTIONS 2025」（2021年度～2025年度）に基づいて、持続的売上拡大と収益確保に努めて参ります。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、ボーリング機器関連では当社単体においては、原材料高の影響により販売価格高騰が影響したため受注が伸び悩みましたが、連結子会社である株式会社クリステンセン・マイカイの受注高が当年度期首より計上されたことにより、連結受注高は増加しました。また、工事施工関連においては、トンネル工事の受注が減少いたしましたが、海外ODA案件の大口受注により、前年同四半期とほぼ同水準となりました。今後は、トンネル工事の受注減少を、当社独自の技術を生かした事業の受注を目指して参ります。売上高につきましても、株式会社クリステンセン・マイカイの売上高が当年度期首より計上されたことにより、連結売上高は増加しました。

以上の結果、連結受注高は前年同四半期27.7%増の7,425百万円、連結売上高は同36.8%増の7,190百万円となりました。利益面におきましても、株式会社クリステンセン・マイカイの利益が当年度期首より計上されたことにより、営業利益は426百万円（前年同四半期比270.9%増）、経常利益は365百万円（同826.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は224百万円（同145.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	7,425	5,815	1,610	27.7%
売上高	7,190	5,255	1,934	36.8%
営業利益	426	115	311	270.9%
経常利益	365	39	326	826.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	224	91	132	145.1%

(百万円未満は切り捨てて表示しております。以下、同じ。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

当社単体の受注高につきましては、昨年度の中国市場における大型受注が剥落したことにより減少いたしました。株式会社クリステンセン・マイカイの受注高2,091百万円が当年度期首より計上されたことにより、受注高全体では前年同四半期を上回る4,720百万円（前年同四半期比49.6%増）となりました。今後、海外関連案件（含中国市場）の受注の増加を目指しております。売上高につきましては、当社単体では前年同四半期並となりましたが、株式会社クリステンセン・マイカイの売上高1,977百万円が当年度期首より計上されたことにより、前年同四半期を上回る4,857百万円（前年同四半期比72.3%増）の売上高を計上いたしました。利益面では個別原価の管理強化と、株式会社クリステンセン・マイカイの利益220百万円が当年度期首より計上されたことにより、同セグメントはセグメント利益284百万円（前年同四半期はセグメント損失50百万円）を計上いたしました。

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	4,720	3,155	1,564	49.6%
売上高	4,857	2,819	2,037	72.3%
セグメント利益又は損失(△)	284	△50	334	— %

② 工事施工関連

受注高はトンネル調査工事が減少いたしました。海外ODA案件大口受注により、前年同四半期と比べると45百万円増加し、2,705百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。売上高につきましては、トンネル調査工事、地下水工事はほぼ前年並みでしたが、アンカー大型工事などが全体的な進捗の低迷により、売上高全体では前年同四半期を下回る2,333百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。利益につきましては、アンカー大型工事などが全体的な進捗の低迷により利益貢献とならず、セグメント利益140百万円（前年同四半期比14.1%減）を計上いたしました。

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,705	2,659	45	1.7%
売上高	2,333	2,436	△103	△4.2%
セグメント利益	140	163	△23	△14.1%

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して371百万円増加し、13,259百万円となりました。

流動資産は、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権）が495百万円減少した一方で、現金及び預金が396百万円、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が712百万円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して542百万円増加し、7,951百万円となりました。

有形及び無形固定資産は、機械装置、リース資産などで68百万円の設備投資を行ないましたが、減価償却を189百万円及びのれんの償却を37百万円実施したことなどから、有形及び無形固定資産は159百万円減少し、4,879百万円となりました。投資その他の資産は、長期未収入金が13百万円減少したことなどにより427百万円となりました。以上の結果、固定資産合計では前連結会計年度末と比較して170百万円減少し、5,307百万円となりました。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して206百万円増加し、8,396百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が99百万円減少した一方で、仕入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が428百万円、預り金が59千万円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して410百万円増加し、4,044百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が50百万円増加した一方で、長期借入金が245百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して203百万円減少し、4,352百万円となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払いにより67百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益224百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末と比較して165百万円増加し、4,862百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して0.3ポイント増加し36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,321,468	1,717,858
受取手形、売掛金及び契約資産	2,597,317	1,993,454
電子記録債権	310,240	418,184
商品及び製品	1,860,657	2,459,847
原材料及び貯蔵品	514,653	591,957
仕掛品	643,347	679,770
その他	161,826	90,896
流動資産合計	7,409,510	7,951,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,351,488	2,263,353
機械装置及び運搬具（純額）	334,379	306,796
土地	1,986,896	1,986,896
その他（純額）	89,270	84,316
有形固定資産合計	4,762,035	4,641,363
無形固定資産		
のれん	231,259	194,092
その他	45,697	44,170
無形固定資産合計	276,956	238,263
投資その他の資産		
投資有価証券	7,360	8,010
繰延税金資産	19,088	33,323
その他	414,611	388,202
貸倒引当金	△1,705	△1,800
投資その他の資産合計	439,355	427,736
固定資産合計	5,478,348	5,307,363
資産合計	12,887,858	13,259,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,718	781,697
電子記録債務	318,909	564,253
工事未払金	151,779	100,707
未払費用	213,463	220,513
契約負債	89,531	78,217
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	402,517	392,351
未払法人税等	88,374	84,735
製品保証引当金	-	3,717
賞与引当金	191,242	92,220
工事損失引当金	10,000	-
受注損失引当金	5,000	-
その他	115,585	225,844
流動負債合計	3,634,121	4,044,258
固定負債		
長期借入金	3,738,937	3,493,628
役員退職慰労引当金	51,652	55,827
退職給付に係る負債	641,850	648,638
資産除去債務	24,311	24,407
繰延税金負債	7,190	57,843
再評価に係る繰延税金負債	15,230	15,230
その他	77,498	57,148
固定負債合計	4,556,672	4,352,723
負債合計	8,190,793	8,396,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	3,944,119	4,100,033
自己株式	△301,230	△290,561
株主資本合計	4,808,304	4,974,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	39
土地再評価差額金	△124,007	△124,007
退職給付に係る調整累計額	12,978	11,431
その他の包括利益累計額合計	△111,239	△112,535
純資産合計	4,697,064	4,862,351
負債純資産合計	12,887,858	13,259,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,255,737	7,190,399
売上原価	3,846,581	4,971,752
売上総利益	1,409,155	2,218,646
販売費及び一般管理費	1,294,140	1,792,104
営業利益	115,015	426,541
営業外収益		
受取利息	6	96
受取配当金	24	22
受取保険金	77	9,732
スクラップ売却益	2,899	-
その他	9,379	7,002
営業外収益合計	12,387	16,854
営業外費用		
支払利息	47,866	56,416
為替差損	-	20,085
支払手数料	39,054	754
その他	1,004	498
営業外費用合計	87,924	77,754
経常利益	39,478	365,641
特別利益		
固定資産売却益	114,025	599
特別利益合計	114,025	599
特別損失		
固定資産除却損	9	280
特別損失合計	9	280
税金等調整前四半期純利益	153,494	365,960
法人税、住民税及び事業税	28,334	104,602
法人税等調整額	34,753	36,989
法人税等合計	63,088	141,592
四半期純利益	90,406	224,367
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,119	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,525	224,367

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	90,406	224,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	250
退職給付に係る調整額	247	△1,546
その他の包括利益合計	299	△1,295
四半期包括利益	90,705	223,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,825	223,072
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,119	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2023年7月26日付けで自己株式18,833株を処分いたしました。この結果、自己株式は当第3四半期連結累計期間において10,669千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において290,561千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響及びウクライナをめぐる現下の国際情勢に関する会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,819,554	2,436,183	5,255,737	—	5,255,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,176	—	4,176	△4,176	—
計	2,823,731	2,436,183	5,259,914	△4,176	5,255,737
セグメント利益又は損失 (△)	△50,389	163,788	113,399	1,616	115,015

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,616千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社クリステンセン・マイカイの自己株式を除く発行済株式の全てを取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ボーリング機器関連」のセグメント資産が1,736,493千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ボーリング機器関連」セグメントにおいて、株式会社クリステンセン・マイカイの株式取得により、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては247,778千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	4,857,296	2,333,103	7,190,399	—	7,190,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,804	—	8,804	△8,804	—
計	4,866,100	2,333,103	7,199,203	△8,804	7,190,399
セグメント利益	284,501	140,616	425,117	1,424	426,541

(注) 1. セグメント利益の調整額1,424千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。